



優 秀 賞

設計部門



①

作品概要

作品名—— 伊勢志摩国立公園横山展望台再整備
 所在地—— 三重県志摩市阿児町鷺方875
 発注—— 環境省中部地方環境事務所
 園地設計—— 景域計画株式会社
 建築設計—— 合同会社わくわくデザイン
 設計協力—— 株式会社一陽舎
 設計期間—— 2017年1月～2017年9月
 施工期間—— 2017年9月～2018年3月
 規模—— 5,600㎡
 主要施設—— 展望台(3カ所)、遊歩道(木道)

作品評

伊勢志摩国立公園は、訪日外国人の誘致を目指す政府の「国立公園満喫プロジェクト」の対象のひとつとなっており、設計対象である展望台は英虞湾への眺望が素晴らしい地点である。
 応募者は来訪者がこの絶景を味わえる空間づくりに取り組んだ。現状の把握と分析、景観特性の解析を踏まえて、第一展望台、木陰テラス、パノラマ展望台のそれぞれに整備方針を定めて、施設構造物の素材の選定、バリアフリー化、テラス状の階段の設置、飲食ができるカウンター機能を持った休憩施設の配置等、細やかな配慮を行った。
 調査・基本計画・基本設計・実施設計・工事監理という各段階でのきちんとした仕事と、その成果の協働によって為し遂げられた成果は高く評価された。



②



③



④



⑤



⑥

①横山天空カフェテラス展望デッキから英虞湾を望む ②展望休憩所の天井に英虞湾の反射光が映りこむ ③木もれ日テラス
 ④そよ風テラス ⑤そよ風テラスに隣接する芝生広場 ⑥平面図

伊勢志摩国立公園横山展望台再整備

景域計画株式会社
 八色宏昌・湯本香織
 合同会社わくわくデザイン
 河合洋平

本設計は、横山展望台の展望テラスと展望休憩所からなる横山天空カフェテラスを含めた3箇所の展望施設とそれらに付帯する遊歩道等を対象としたものである。

横山展望台が持つ価値は、民有地の割合が96%以上の伊勢志摩国立公園のなかで、人々の営みと自然が織りなす里山里海への俯瞰の眺望である。リアス海岸と真珠の養殖筏等から構成

される英虞湾への眺望は絶景であり、当該価値をさらに顕在化することが重要であると考えた。

本設計では、英虞湾への眺望バランスを考慮し、既存施設の眺望方位を10°振る等、視点場の再設定を通じて、当該価値を引き出し、来訪者が英虞湾の景観をゆっくりと楽しみ、上質な体験ができる展望施設を目指した。食や文化の恵みの源泉となる英虞湾に対して清々しく対峙できるように、展望施設では施設構造物の素材をシンプルかつ上質なものとし、雑味のない眺望の場とした。展望施設の転落防止柵は、眺望への透過性を高

めるために、自然な質感となるリン酸処理を施したφ13mmの縦格子の鋼材を用い、デッキ材には小節の尾鷲産のヒノキ材を用いて素材と形態の主張を抑え、風景に対して清々しく対峙できるように心がけた。

また、整備前の2016年に開催された伊勢志摩サミット以降の利用者増加に伴い、混雑度が高く、ゆっくりと眺望を楽しむことができないという課題があった中、交通量調査等による利用者数の推定により、適切な規模の眺望空間の確保と、各展望台の利用形態の多様化を図った。横山天空カフェテラスでは、

眺望空間を確保するために、休憩所1階のカフェからの眺望を確保し、展望デッキの最先端部にバリアフリーかつ余裕のある眺望の場を確保した。展望デッキの背面には、最先端部に利用者がいても眺望が楽しめる着座機能のあるテラス状の階段を設けた。こもれびテラスやそよ風テラスでは、飲食可能なカウンターをもった休憩施設を配置し、多様な利用形態に対応できる場を確保した。特徴のある展望施設を分散配置することで、利用形態の多様化と混雑緩和を図り、回遊体験を通じて上質な空間体験ができると考えた。

設計部門